

国 語（1年生） 学習案内

◎中学校の国語科では、「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成すること」を目標としています。

◎そして中学1年生の国語では主に次のような教材を扱う予定です。場合によっては別の教材に替えることもあります。

【知識・技能】

- 言葉 ・日本語の音声 ・日本語の文字 ・方言と共通語
- 文法 ・言葉の単位 ・文の成分 ・単語のいろいろ
- 漢字 ・漢字の部首 ・画数と活字の字体 ・漢字の音と訓 ・熟語の構成

【思考力・判断力・表現力等】

- ・ふしぎ ・桜蝶 ・自分の脳を知っていますか ・資料から得た根拠をもとに意見文を書く
- ・ベンチ ・写真で「事実」を表現する ・材料を整理して案内文を書く ・森には魔法つかいがある
- ・根拠を明確にして意見文を書く ・昔話と古典一箱に入った桃太郎ー ・物語の始まりー竹取物語ー
- ・故事成語ー中国の名言ー ・蜘蛛の糸 ・河童と蛙 ・オツベルと象 ・子どもの権利
- ・言葉がつなぐ世界遺産 ・四季の詩 ・少年の日の思い出

評価の観点

この3つの観点を評価していきます

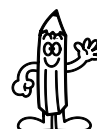


主体的に学習に取り組む態度

→どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送ろうとしているか

言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に
して、思いや考えを伝え合おうとしているか。

- ・自己の課題の調整力
- ・粘り強さ



知識・技能

→何を理解しているか、何ができているか

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしているか。

- ・言葉の特徴や使い方
- ・情報の扱い方
- ・我が国の言語文化

思考力・判断力・表現力等

→理解していること・できることをどう使っているか

筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものになっているか。

- ・話すこと、聞くこと
- ・書くこと
- ・読むこと

★評価の方法

国語科では、3つの観点を主に次のような方法で評価します。

○知識・技能

小テストや定期テスト等を通して、知識の習得や概念的な理解を調べたり、その知識や技能を用いる場面を設定し、習熟度を測ったりします。主に漢字や古典、文法、書写、情報の扱い方や読書等で評価します。

○思考力・判断力・表現力等

小テストや定期テスト、レポート、論述やグループでの話し合い、発表、作品の制作などを通し、思考力や判断力、表現力を評価します。主に記述された文章や発表等での話し方、聞き方、物語文や論説文の読解内容を評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

小テストや定期テスト、ノートやプリント、ワーク等を通して、「知識・技能」を習得したり「思考力、判断力、表現力等」を身に付けたりするために、自分の学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自分の学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意欲面を評価します。また、粘り強く取り組んでいるかどうかも大切です。そのために、決められたことや板書を書き写すだけでなく、自分なりに考えたことや調べたことを書き加えられているかを確認します。さらに、提出物や課題を忘れずに取り組んでいるかどうかや、授業での様子を評価します。